

別紙
機器

1	機器の性能、機能
1-1	デジタル式歯科用パノラマ・断層エックス線診断装置（以下「診断装置」という。）について、以下の要件を満たすこと。
1-1-1	複合撮影装置本体の外形寸法は、(W)2000mm×(D)1400mm×(H)2300mm、据付面積が 2.6㎡以内であること。
1-1-2	診断装置は、使用電力：100V、消費電力：2.0 k VA以内であること。
1-1-3	フラットパネルによる歯科用C T撮影及びパノラマ撮影ができること。
1-2	パノラマ撮影は、以下の機能を有すること。
1-2-1	標準パノラマ（標準撮影、顎骨撮影、直交撮影）、小児パノラマ（標準撮影、顎骨撮影、直交撮影）、上顎洞パノラマ及び顎関節撮影ができること。
1-2-2	患者の歯列形態に合わせた断層軌道が選択できること。
1-2-3	撮影部位に応じて線量を調整する機能及び適正なコントラストを得る機能を有すること。
1-2-4	全域に渡ってフォーカスの合った画像を取得できるAFP（全顎自動焦点補正）機能を有すること。
1-2-5	画像の拡大率を一定に保つ機能を有すること。
1-2-6	パノラマ撮影時間は、高速：9秒、通常：17秒以下であること。
1-3	セファロ撮影は、以下の機能を有すること。
1-3-1	セファロは FPD を用いたワンショット撮影方式であること。
1-4	CT撮影は、以下の機能を有すること。
1-4-1	検査目的に応じて、最小φ51×H55mm以下～最大φ230×H160mm以上の範囲の複数のF O Vを有していること。
1-4-2	180度と360度撮影モードの切替ができること。
1-4-3	CT撮影時間は、180°：10秒、360°：18秒以下であること。
1-4-4	ボクセルサイズ：0.1mm以下での撮影ができること。
1-4-5	歯列に焦点を合わせたF O Vを有していること
1-4-6	CT撮影時の位置決め方法として、予備撮影機能を有すること。
1-5	画像処理装置について、以下の要件を満たすこと。
1-5-1	電磁妨害波規格は、VCCIクラスB以上であること。
1-5-2	CPUは、Intel Xeon 3.30Ghz以上もしくはインテル(R) Core(TM) i5-13500 2.5GHz以上の性能を有すること。
1-5-3	OSは、Microsoft Windows 10 Pro又は同等品以上のソフトウェアであること。
1-5-4	メインメモリは、8GB以上であること。
1-5-5	ストレージは、256GBのSSD及び2TB（SATA）×2以上を実装し、自動データバックアップ機能を有すること。
1-5-6	インタフェースとして、USB2.0、USB3.2準拠のキーボード及びマウスを有すること。
1-5-7	ネットワークインタフェース（1000BASE-T以上）を備えていること。
1-5-8	光ディスクメディアに画像出力ができること。
1-6	液晶モニタについて、以下の要件を満たすこと。
1-6-1	画面サイズ：23.8型以上のTFTカラー液晶モニタであること。
1-6-2	解像度は、1920×1080以上であること。
1-6-3	最大輝度は、標準300cd/㎡相当以上であること。
1-6-4	ビデオ入力信号は、VGA、DisplayPort、HDMIいずれかを有していること。
1-7	画像診断アプリケーションとして、次の機能を有していること。
1-7-1	ズーム機能、距離・角度の測定機能、エッジの強調機能、回転・反転機能、画像の濃度の調整機能、画像インポート・エクスポート機能、CT画像再構成機能、リアルタイムスライス機能、ボリュームレンダリング機能、スライス厚み・間隔可変機能、簡易ソフト付CTデータ書出し機能
1-7-2	エックス線画像の全体濃度を適正化し、濃淡を強調する機能を有すること。
2	ネットワーク接続
2-1	ネットワーク接続については、以下の要件を満たしていること。
2-1-1	DICOM 規格 3.0及び MWMおよびに対応していること、
2-1-2	RIS、PACS、検像端末などの当院が指定する他装置とのDICOM接続を行うこと。
2-1-3	当院RISと接続し、撮影オーダーの連携（MWM）が可能であること。
2-1-4	DICOM3.0およびDICOM RTに準拠したネットワーク接続が可能であり、当院のPACS等と接続すること。接続の詳細については当院担当者および関連会社と充分協議をしたうえで接続を行うこと。
2-1-5	RDSRに対応し被ばく管理システムへ接続し送信すること、
2-1-6	DICOM接続はStorage、MWM、RDSR、DICOM DIRに対応していること。
2-1-7	接続に関するもの全て当院担当者と協議の上、接続を行うこと。
3	付属機器
3-1	付属機器は以下の物を備えていること。
3-1-1	撮影室内に他の放射線機器があるため、曝射制御をする機構
3-1-2	座位で検査するための当院指定の椅子
4	設置について

4-1	部屋改修工事・装置設置、教育、保守について、以下の要件を満たしていること。
4-1-1	基本、部屋の改修は必要としないが、設置に必要な改修工事は担当者と綿密な打ち合わせを行い作業すること。
4-1-2	機器の搬入、据付、配線、調整工程を担当者と打ち合わせを行い作業すること。
4-1-3	既存機器及び付属物品等の撤去及び搬出が発生する場合は本調達費用に含むものとする。撤去内容については担当者と打ち合わせを行い作業すること。
4-1-4	取り扱い説明に関する教育訓練は、当院が指定する日時・場所で行うこと。
4-1-5	納入翌年度末までの期間、通常の使用により故障した場合の無償保証に応じること。
4-1-6	納入翌年度末までの期間、障害発生時の対応を無償保証に応じること。
4-1-7	無償保証期間中にソフトウェアのアップデートやバージョンアップが行われた場合は無償で速やかに反映させること。
4-1-8	上記以外に関して問題が生じた場合に、当院側と協議し決定をすること。
4-1-9	年度途中で保証が終了する場合は年度終了まで保守契約を別途結ぶこと。
4-1-10	機器導入後の設定変更等、担当者と協議し速やかに対応すること。
4-1-11	検査に必要な機器の調整に関する技術支援を行うこと。
5	その他
5-1	その他について、以下の要件を満たすこと。
5-1-1	入札装置は、入札時点で製品化されていること。
5-1-2	入札装置のうち医療用具に関しては、入札時点で薬機法に定められている製造の承認を得ている部品であること。
5-1-3	その他、当仕様書に記載のない事項については、適宜当院職員との協議に応ずること。